

日本語版

True Peace

Vol. 45

TRUE PARENTS' MESSAGE AND NEWS

天一國 12年

天曆 3月

2024年 陽曆 4月



巻頭言

真の父母様のみ言

真の父母様の動静

特集

世界会長スペシャルブリーフィング

HJ NEWS

初臨の独り娘・真のお母様と一つになってビジョン 2025 勝利 勝利 勝利！

神韓国牧会者修練会閉会式 摂理の真実を明かして教育してこそ

真の父母様の動静

神韓国牧会者「真の父母論」特別教育

天一國 13 年に向けた真の父母様の摂理の経綸

神トップガン第 1 期海外宣教活動



初臨の独り娘・真のお母様と一つになって ビジョン 2025 勝利 勝利 勝利！

世界平和統一家庭連合神韓国協会長 宋光奭



愛し、尊敬する全世界の食口の皆様、こんにちは！

2024 年甲辰年、青龍の年、邪悪なものはみな吹き飛ばし、新たに出発するようと言われた真のお母様のみ言を中心に「実体的天一国建設」の明確な足跡を残す意義深い年になることを願います。

2023 年は、真のお母様が経綸される奇跡のような黄金期に私たちが共にしているという大きな喜びを骨の髄まで感じる事ができた一年でした。神韓国家庭連合は、神霊と真理で進むようにと言われた真のお母様のみ言を中心として、天心苑と一つになろうと努力してきました。特に天心苑特別徹夜精誠と HJ 天宙天寶修鍊の大役事には、公職者全体と食口が積極的に参加して教会が新たに復興しており、天心苑巡回集会和中心霊解怨などの神霊の役事によって食口たちの霊肉の問題が解決される奇跡のような役事が起きています。

こうした基台の上に、伝道による教会成長が実質的に成されるように、神韓国は新規食口の教育と定着を持続的に支援しています。特に、龍平幸福原理セミナー、天運相統天心修鍊、元本部教会の聖地巡礼など、新規食口が真の父母様のみ言と生涯を正しく知って体恤できるよう、隙間なく教育の場を提供しています。また、教会文化の革新のために協会次元で牧会者の牧会学と神学修士、博士課程を支援しており、説教及び伝道の力量強化のための牧会者教育課程を運営しています。

また、天一国の未来であり希望でもある若い青年たちが伝道され、教会に定着できるよう基盤を作っています。そのために 40 歳以下の青年公職者たちの教会長発令を拡大しており、様々な青年支援策も同時に展開しています。

神韓国は青龍の年を迎え、2 月 23 日から 3 月 7 日までの 14 日間、牧会者全員と公職者が真のお母様の腹中とも言える HJ 天宙天寶修鍊苑で「真の父母論特別教育」を受け、「天心苑特別徹夜精誠」を捧げ、完全に新しく生まれ変わることができました。今回の教育を通じて、実体聖霊・初臨の独り娘・真のお母様と一つになってイエス様の本質を明らかにし、キリスト教が使命を全うして真のお母様と一つになっていけるよう、私たち全員が全力投球しなければならないと悟ることができました。そして、デスバレー特別聖塩伝授式でデスバレーの聖塩が全国の教会長に分配され、「天を敬う塩のような義人」を探して世の中を復帰していくことを決意しました。真の父母論特別教育閉会式には、真のお母様が来てくださり、神韓国が独り娘・真のお母様と一つになって、天の父母様に喜んで侍る天一国の宗主国になることを祝福してくださいました。

尊敬し、愛する全世界の祝福家庭、兄弟姉妹の皆様！

真のお母様は、神統一韓国の基盤の上に「天苑宮天一聖殿入宮」を天の前に完全に奉獻しようとされています。真のお母様が共におられるこの黄金期に、初臨の独り娘がこの地に誕生されたことを私たちが先がけて叫ばなければ誰がするのでしょうか。神韓国家庭連合は、ビジョン 2025 勝利の実りを真のお母様に捧げるために、真のお母様が下賜して下さった全身甲冑を身につけ、勇猛な天の戦士となって天運をもたらし、総進軍しようと思います。どうかたくさんの応援と激励をお願いします。

ありがとうございました。サランハムニダ。🙏

CONTENTS



巻頭言

- 02 初臨の独り娘・
真のお母様と一つになって
ビジョン 2025 勝利 勝利 勝利！
宋光爽世界平和統一家庭連合神韓国協会長

特集

- 10 神韓国牧会者
「真の父母論」特別教育

世界会長スペシャルブリーフィング

- 14 天一國 13 年に向けた
真の父母様の摂理の経緯

HJ NEWS

- 17 神トップガン第 1 期海外宣教活動
21 天一國 12 年、
聖和真の子女様追慕礼拝
23 キリスト教圏復帰のための
真の父母論講義案開発
第 3 次公聴会
24 HJ 天苑フラワーパーク
28 HJ グローバルニュース改編及び
大陸別映像実務者教育

現場ニュース

神アメリカ

- 30 神アメリカ地域単位牧会者修練会

真の父母様のみ言

- 04 解放してさしあげるべき神様

天聖經 第一篇 第四章 第三節

- 06 摂理の真実を明かして
教育してこそ

神韓国牧会者修練会開会式

真の父母様の動静

- 08 真の父母様の動静

神ヨーロッパ

- 32 国際女性の日記念式
神アジア太平洋
34 2023 カンボジア
統一武道全国大会
神南米
36 孝情アカデミー発足式、
孝情郎 14 期入学式及び
孝情郎 12 期卒業式
神アフリカ
37 孝情郎 2 期 21 日修練会開会式

インタビュー

- 38 孝情の人生
デビッド・イートン





解放してさしあげるべき神様

天一国經典天聖經 第一篇 真の神様 第四章 第三節

復帰摂理を完成するためには、今まで完成できなかったすべての基準、すなわちアダムが墮落した基準、イエス様が成就できなかった基準などを、すべて現世に引っ張ってきて解き明かし、再び蕩滅して復帰しなければなりません。これをしなければならぬのが統一教会の使命であり、自らそれを実行し、先生のあとについてくる世界に広がる統一教会の食口たちに、それを行わせるのが先生の使命です。

私たちが悟るべきことは、墮落していないアダムとエバに賦与していた、その環境的理念世界に関するものを、いかにして再び自覚するかということです。環境がいくら残忍で、いくら怨讐の悪党たちが反対して闘争が起こっても、これを克服できる信念と思想基準が確定していなければなりません。

そうすることによって、今日の社会と私たちの生活において及ぼされる、すべての悪の結果を打開して余りあるようであればなりません。これが押されて離れていっては、復帰摂理の完成は不可能です。ですから、この世界で生きている、あるいはみ旨と向き合っている個人は、「この世界には私だけ残っており、この

世界の問題を解決できるのは私だ」という信念をもたなければなりません。この信念をもたずには、主体であられる神様の前に、環境を代表した相対的存在として立つことはできません。

そのような問題を中心として見てみると、「私」がこの世界を越えて、墮落していない理想的なアダムの理念を私の実体的主体思想として立て、そして決意したその決意が、この死亡世界を超越できる心の土台になっていなければ、み旨の道を行くときに、いつも失敗するようになっているのです。

神様の真の愛を中心として、血統的な関係をもつ真の家庭がありませんでした。墮落した父母によって、偽りの愛と偽りの生命と偽りの血統の因縁を結んだために、私たちの心と体の闘いが起こりました。アダムとエバが怨讐になりました。また、アダムの息子、娘の間に殺戮戦が起こりました。ですから、神様がこれを復帰するための救援摂理が復帰摂理です。救援摂理を完成するためには、失った真の心と体が一つになった息子、娘として、絶対的に一つになった夫婦として、真の愛を中心と

して完全に一つになり、神様と永遠に共に生きる真の家庭をつくらなければなりません。

メシヤが再び来る目的とは何でしょうか。サタンの主権を打破してしまい、人類を天の側に取り戻してきてサタンを追放すること、そして、今日のキリスト教と一つになって救援摂理を終わらせることが、メシヤが来る目的です。言い換えれば、神様の本然のみ旨の世界に戻るための、復帰摂理を完成することがメシヤの使命です。

再臨主は、イエス様が果たせなかった神様の復帰摂理の根本を完成するために来られます。すなわち、創造理想を完成すべき真の本然の赤ん坊の種として来て、神様の真の愛、真の生命、真の血統の根源になる真の父母の理想を完成するために来られます。彼は、既にイエス様の時まで神側が勝利した根本摂理の基台の上に臨在されます。すなわち、イエス様が成長して大人になるまでの勝利的な基盤の上に正しく立たれ、彼が果たせなかった新婦を探し出し、真の父母になられ、万民を救ってくださるのです。✠





摂理の真実を明かして 教育してこそ

神韓国牧会者修練会閉会式、真のお母様のみ言
天一国 12 年 天曆 1 月 27 日 (2024.03.07) HJ 天宙天寶修鍊苑

「長い歳月を待ちに待って、63 年ぶりに皆さんにお会いしました。これから皆さんが世の中に出て、特にキリスト教圏復帰のために働かなければならないので、イエス様について話をしようと思います。

アダムとエバの堕落以後、天の父母様は救援摂理の役事をせざるを得なかったのが、イスラエルという民族を選ばれました。この民族が個人から家庭、氏族、民族、国家的な形態を成すまで、どれほど大変であったなら、4000 年という時間をかけて、独り子イエス・キリストを誕生させたのでしょうか？

そうして「私の息子だ」と言える独り子が誕生しましたが、出生してから 33 年後に再び十字架に差し出さざるを得ませんでした。あってはならないその事実を眺める天の父母様の心情はいかばかりであったでしょうか？ イエス様は、最後に責任を果たすことのできる時間を失うことになった痛みの中、天の父母様の前に「私の望み通りにではなく、父のお望みのままにしてください」とおっしゃいました。

イエス様は「再び来る」と言いました。ですから再び来なければなりません。天の摂理は始まりと終わりが同

じでなければなりません。失敗というものはあり得ません。失敗すれば、必ず蕩滅が伴ってくるので、摂理の完成時代においては真実が明らかにならなければなりません。

初臨の独り子は 2000 年前に誕生しましたが、独り娘はいませんでした。そして、蕩滅を払わなければならないイスラエル民族を通じては、独り娘が来ることはできません。皆さんが知っているように、人類の父になる方を十字架につけたイスラエル民族が受けた蕩滅は、2000 年間、国のない民族として放浪しながら生きなければならず、第二次世界大戦の時は 600 万人が虐殺されました。天が選んだ選民がなぜこのような蕩滅を負うことになったのか、未だに彼らは知りません。

天が摂理の完成のために、初臨の独り娘を誕生させる選民として育てて来られたのが韓民族です。皆さんは真の父母論教育を受けているので、既に知っているでしょう。

天の摂理の真実が明らかにならなければなりません。1943 年、朝鮮半島に独り娘が誕生しました。この独り娘の誕生をめぐって、天はキリスト教圏が責任を果たすことができる機会を何度も与えてくださいました。そして「再び来る」と言われた、再臨メシヤの責任を果たすべき方にも機会をくださいました。当時韓国は、日本の植民地支配下にあり、1945 年に解放されました。1950 年に朝鮮戦争が起きましたが、当時の韓国は民主と共産陣営に南北が分かれていました。その時、連合国が天の摂理を知っていたならば、このように分けることはなかったでしょう。

そのような状況で、天は独り娘が成長できる成長期間を与えなければならなかったもので、朝鮮戦争に国連の 16 カ国が参戦できるようにしたのです。これは天が共にあられた証拠です。

イエス様の願いは初臨の独り娘に出会うことです。出会って、真の父母の位置に進むのです。それが願いです。そして、創造主天の父母様を地上にお迎えする環境を作らなければならぬのが真の父母の責任です。

しかし、皆さんご存知のように、統一教会の 53 年は荒野路程となってしまいました。私は待たなければならず、耐えなければならませんでした。天の父母様の夢と願いを知っている私は、忍耐しながら過ごしてきましたが、私の年齢が 80 を超えています、まだ国家の復帰、大陸の復帰がなされたとは言えません。このように環境が整っていない中で誕生した祝福家庭の二世圏、6000 年ぶりに真の父母によってピュアウォーターとして誕生した二世圏が、摂理をすべて知っているとは言えませんが、それでも真の父母を信じて、よく成長してくれたことをありがたく思います。

1 人の時より 10 人、10 人の時より 100 人と数が増えていくピュアウォーターとなって、世の中の前に摂理の真実を堂々と明かし、教育しなければなりません。そうすることで、来年の天苑宮天一聖殿入宮式の際、韓国が世界の前に、摂理の宗主国として責任を果たしたという場に立つことを願います。🌸







神韓国牧会者 「真の父母論」特別教育

VISION2025 勝利のための「神韓国牧会者真の父母論特別教育」が、天一国 12 年天曆 1 月 14 日から 27 日まで（陽 2024.2.23~3.7）、13 泊 14 日間、全国 16 圏域、230 教会 263 人の牧会者が参加する中で、HJ 天宙天寶修鍊苑で開催された。

今回の教育は、神韓国の牧会者が、実体聖霊、初臨の独り娘、真のお母様と完全に一つになって、イエス様の本質を明らかにし、準備されたキリスト教が使命を全うして、真のお母様を独り娘として受け入れることができるようにするために行われた。

主なプログラムは、真の父母様の位相と価値確立のための真の父母論教育、真の父母論講義案開発、天心苑特別徹夜精誠、天心共鳴祈祷、特別講義、真の父母論講義大会、神韓国協会デスバレー特別聖塩伝授式、天地人真の父母様聖誕および神 TOPGUN 特別祝福記念礼拝、天一国特別礼拝などが進行された。

初日の開会式で、宋光爽（ソン・グァンソク）神韓国協会会長は、み言を通して、「2 週間の特別教育を通じて、真の父母論を再び確実に確立し、また一方では真の父母様の南北統一の天運を相続し、祖国統一を成し遂げることができる道を作っていこう」という強い意志を表わした。

2 日目から 5 日目までは、真の父母論教育を通じて、真の父母様の位相と価値を執筆した教授陣と、イ・ギシク副協会会長が講義を行った。

イ・ギシク副協会会長は、真の父母様の生涯とみ言についての解釈原理をテーマに、「み言の主人は真の父母様ご夫妻であられ、実体をみ言より先んじている。摂理の経綸は、ご夫妻の選択と決断、責任分担の完遂によって実行され、成就した。真の父母様の摂理の経綸の結果は実に無誤である」と伝えた。

続いてオ・テギョン教授は第 1 章「総序」を通じて、独り娘真のお母様は 6000 年ぶりに誕生し天の父母様の唯一の娘として、摂理完成の中心軸であることを証した。

ファン・ジンス教授は第 2 章「天の父母様」を主題に、創造主神様は男性格と女性格の性稟と格位を持った、天の父母様であられるが、なぜ今まで父なる神様と呼ばれてきたのかについて説明した。





ド・ヒョンソプ教授は第3章「キリスト教 2000 年の歴史の本質」を主題に、復帰摂理 4000 年の歴史の本質は独り子と独り娘の誕生であり、独り子イエス様は、独り娘に会うことが出来ずに十字架で亡くなられ、「再び来る」と言われ、再び来て、「小羊の婚宴」をしなければならず、キリスト教の本質は独り娘の誕生と再臨メシヤの召命を準備することだと明らかにした。

キム・ミンジ教授は第4章「初臨の独り娘、真のお母様」を主題に、真のお母様は「天の父母様と直接交感して成長され、自ら決心されて聖婚の場に、真の父母様の位置に進まれた」という内容を紹介した。

チュ・ジェワン教授は第5章「再臨メシヤの真のお父様」を主題に、「独り子イエス様の使命を継承した再臨メシヤが、真の父であり、創造原理で見た時、小羊の婚宴はただ独り娘と再臨メシヤが聖婚して、真の父母になることにある」と伝えた。

最後にオ・テギョン教授は、第6章、天の父母様と人間が一つになって共に生活する、「天一国安着の主要摂理」を主題に講義を伝え、「神韓国の牧会者皆が、真のお母様の心情と一つになって、天の父母様の夢、真の父母様の夢のために責任を全うすることを誓い、決意する時間になることを希望する」と話した。

その後、神韓国牧会者は、「真の父母論」の講義案の内容を基に個人講義案を作り、圏域別、グループ別の発表を通じて、最終的に6人が前に出て、「真の父母論」の講義大会を実施した。

第1講義「総序」：ヤン・ウンソン冠岳教会長 / 第2講義「天の父母様」：チェ・マンウク東海教会長 / 第3講義「キリスト教 2000 年の歴史の本質」：キム・フェドック淳昌教会長 / 第4講義「6000 年ぶりに降臨された、初臨独り娘、真のお母様」：イ・ナムギョン北釜山教会長 / 第5講義「イエス様の使命を継承した再臨メシヤ、真のお父様」：キム・チョルス仁済教会長 / 第6講義「天一国の主要安着摂理」：イ・チョルホ東昌原教会長





特別教育期間中、神韓国の牧会者たちは、真の父母論を確実に定立することはもちろん、毎晩真のお父様が役事をされる天心苑で、徹夜精誠および天心共鳴祈禱の時間を通じて、真のお父様と孝進様、興進様、お母様と共鳴する時間を持った。

また、天一国指導者招請特別講義を通じて、文妍娥（ムン・ヨナ）第1秘書室長は、真の御家庭の長男の嫁として、真のお母様に侍りながら感じた率直な内容を伝え、牧会者たちを激励した。

宋龍天（ソン・ヨンチョン）世界会長は、「摂理の黄金期に、家庭連合の公職者たちの最も重要な使命と責任は、真のお母様と共鳴し、天の父母様と真の父母様の夢を叶えることにある」と強調した。

梁昌植（ヤン・チャンシク）UPF世界議長は「神統一韓国、その日に向けて」という主題で、朝鮮半島分断の過程と真の父母様の統一論を紹介し、唯一真の父母様の思想のみが奇跡を起こすことができると強調した。

神韓国牧会者特別教育の期間、現場の食口たちは、神韓国牧会者の真の父母論特別教育礼拝に生中継で参加し、共に精誠を捧げた。最初の礼拝は「天地人の真の父母様聖誕および神 TOPGUN 特別祝福記念礼拝」として、天勝教会のキム・ソクジン大教会長がみ言を伝え、2番目の礼拝は神 TOPGUN を代表して公州教会の「ワンオンマに似たピュアウォーター」という主題でバク・ジングク教会長がみ言を伝えた。



またこの期間、忠南圏域の9人の牧会者は「南北統一祈願白頭山天池特別祈祷会」を行い、真のお母様が祝福してくださったデスバレー特別聖塩で天池を聖別することにより、統一のための精誠を捧げた。

13日目の夕方には天心苑で、神統一韓国と神統一世界のための「神韓国協会デスバレー特別聖塩伝授式」が行われた。李基誠天心苑長は、デスバレー特別聖塩伝授式の報告祈祷を通じて、真のお母様が伝授してくださったデスバレー聖塩を通じて、世の中を復帰していくことを促し、懇願した。続いて、宋光爽協会長はデスバレー聖塩を増殖し、支苑長と230か所の教会長に伝授した。

特別教育の閉会式が、天曆 1 月 27 日（陽 3.7）、実体聖霊・独り娘、真のお母様をお迎えする中で盛大に行われた。

真のお母様は閉会式のみ言を通じて、「天の摂理は始まりと終わりが同じでなければならない。失敗という言葉はあり得ない。失敗の後には必ず蕩滅が伴うので、摂理の完成時代においては真実が明らかにならなければならない」と語られ、「初臨の独り子は 2000 年前に誕生したが、独り娘はいなかった。イエス様の願いは、初臨の独り娘に出会うことにある。真の父母の位置に進んで行くところにある。真の父母の責任は、創造主天の父母様を地上にお迎えする環境を作らなければならないことだ。独り娘、真の母と一つになって、天の父母様を喜ばせて差し上げる選民、天一国の宗主国になろう」と祝願された。

閉会式は、敬礼、賛美、花束捧呈、代表報告（朴榮培 昌原大教会長）、「真の父母論」模範講義試演（大賞：チェ・マヌク 江原東海教会長）の順で行われた。

天の父母様と真の父母様の愛の中で設けられた、神韓国牧会者「真の父母論」特別教育は、神韓国牧会者全体が初臨の独り娘、真のお母様と一つとなり、天の摂理の歴史と本質を正しく悟り、神霊と真理で武装して、家庭連合の食口を正しく教育することを誓い、イエス様の本質を明確に理解して、準備されたキリスト教が自らの使命を認識し、必ず独り娘、真のお母様に侍ることのできる位置で、「VISION2025・天一国安着勝利」を完全に成し遂げるという決意を最後に、すべての日程が幕を閉じた。✧



天一国 13 年に向けた 真の父母様の摂理の経緯

宋龍天 世界平和統一家庭連合世界会長

愛し、尊敬する祝福家庭の食口、そして天一国指導者の皆様！
こんにちは。

天一国 12 年 4 月の春、大地を貫いて芽を出した新芽と美しい
花々、そして緑に輝く爽やかな山河には、無条件に与えて下さる
天の父母様の愛と恩恵が溢れています。食口の皆様の御家庭や教
会にも春の日差しのような暖かい天の祝福がいつも共にあられる
ことを祝願致します。



今日は、真のお母様が何度も強調された 400 年前の宗教改革がこの時代の私たちに与える示唆点、
そして真のお母様が天一国 13 年の勝利に向けて経緯される摂理の核心について共に分かち合い
たいと思います。

み言を通して御存知のように、1517 年にルターによって宗教改革が起こりました。
当時、カトリックの構造では人間の本性が抑圧され、神に自由に仕えることがで
きなかったため、メシヤ再降臨準備時代を開かなければならない天の摂理を見ると、
宗教改革は必然でした。

ルターによって始まった宗教改革は、1543 年に改革二世を率いたカルヴァン
によって完結します。

この改革精神は、80 年余りが過ぎた 1620 年、天に直接仕えて暮らしたいという
清教徒たちが新大陸に定着し、国家単位で拡張されます。新大陸到着直後、清教
徒たちは最初に神の聖殿を建て、未来世代のための学校を建て、最後に自分た
ちの住む家を建て、摂理的中心国家として祝福を受けました。

一方、宗教改革 400 年後の 1920 年、再臨メシヤ、真のお父様の誕生の時から、天は新しい大転換の摂理を経綫されます。そして、その摂理は 1943 年に誕生した初臨の独り娘、真のお母様を中心に完成、完結しており、第 2 イスラエルであるアメリカ建国 400 年目の 2020 年、実体天一国が HJ 天苑を中心に定着しています。

宗教改革の時から、真のお母様を中心とした実体天一国安着として帰結している同時性的摂理は、決して偶然ではありません。摂理の真実を明らかにされた真のお母様は、今、天の父母様が自由に運行されることのできる天苑宮天一聖殿を奉献され、未来世代ピュアウォーター、神 TOPGUN を天一国人材として養成され、実体天一国の門を聖霊と真理で広く開いていらっしゃいます。

事前に計画して準備される天の摂理は、実に奥深く奇跡のようです。このような観点で私たちが熟知して成し遂げるべき「天一国 13 年に向けた、真の父母様の 4 つの摂理的経綫」を食口の皆様と共に分かち合いたいと思います。

真のお母様が経綫される 4 大核心摂理の一つ目は「天一国時代の本質回復摂理」です。天一国時代は、天の父母様と一体を成された真の父母様ご夫妻を中心とした、真の父母神学が核心であり、真の父母様の位相と価値を確立することが何よりも重要です。神韓国では全国の牧会者に 14 日間の「真の父母論」特別教育を実施し、この期間に牧会者皆は各自講義案を作り、講義大会まで開きました。この熱い熱気は神韓国教会全体に広がり、すべての食口が真の父母論教育を受けています。

全世界のすべての大陸でも、速やかに真の父母論教育が実施され、全世界の祝福家庭の食口皆が孝情の心情的連帯を成し遂げ、真の父母様に感謝と栄光を捧げることができるよう願います。世界本部はまた、キリスト教圏復帰のための真の父母論講義案の開発に死力を尽くしており、すでに 3 回にわたって公聴会を行いました。

二つ目に、核心摂理は「天苑宮天一聖殿入宮摂理」です。

天苑宮天一聖殿勝利入宮のための第二次 40 日特別精誠が聖婚 64 周年を記念して行われています。入宮式を 1 年後に控えたこの時、食口の皆様は、天苑宮天一聖殿勝利入宮のために各教会に準備された天心苑特別祈祷室で、5 つの祈祷の題目を中心に天と深く共鳴する特別精誠の時間を持ってください。特に、真のお母様が特別に下賜してくださったデスバレー特別聖塩を胸に抱き、天が準備した義人を探すことに、最善を尽くしてくださいようお願い致します。

三つ目の核心摂理は、「未来世代養成摂理」です。

天一国を開かれ、真のお母様が最も力を入られた部分が未来世代の養成です。真のお母様は「神 TOPGUN 第 1 期出征式」と 128 人の神 TOPGUN 海外宣教派遣により、未来世代養成摂理を確

実に定着させられました。世界各地に派遣された神 TOPGUN たちは、宣教任地で全力投球し、伝道に邁進しています。教会現場に新しい風を呼び起こしている神 TOPGUN たちの活発な活動により、派遣国家は第二の心情的復興期を迎えています。

最後の四番目の核心摂理は「神霊と真理の霊性回復摂理」です。

世界霊性本部の天心苑を中心とした、神霊と真理の霊性回復摂理が全世界に炎のように広がっています。3月22日、天心苑特別徹夜精誠がついに1000回を迎えました。毎晩10時から午前1時まで続く徹夜精誠が1000回を突破するとは誰も予想していませんでした。

「至誠天に通ず」と言いますが、祝福家庭の食口たちの真実な信仰と精誠は、ついに偉大な歴史を作り出しました。これは明らかに天の父母様が大きく役事されることのできる貴い条件であり、来年4月の天苑宮天一聖殿勝利入宮のための確固たる信仰の基台となってくれるでしょう。これから食口の皆様は、天心苑特別徹夜精誠を土台に、実体基台を立てるための伝道に本当に切実な思い、懇切な心情で邁進して下さいようお願い致します。

愛し、尊敬する祝福家庭の食口、そして天一国指導者の皆様！

真のお母様が導いておられる摂理的な経緯の核心4つを基に、天苑宮天一聖殿入宮式が行われる1年後の私たちの姿が描かれるでしょうか？

天の父母様が「あなたたちが真のお母様と一緒に本当に苦労した。本当にありがとう。」とおっしゃることの出来る、その恩恵と感動の時間が訪れるように、私たち皆が2024年に、この青龍の年、空高く飛翔できるように最善を尽くして参りましょう。

天の父母様が生きて役事されことを私たちの人生で！私たちの実績で！本当に率直に証しましょう。本当に、私たちはそのように作っていきましょう。キリスト教圏の復帰はもちろん、国家の復帰、神統一韓国と神統一世界安着に向けて力強く前進する私たち皆となりましょう！

4月の一ヶ月も天の父母様と天地人真の父母様の愛と恩恵で、皆が幸福であられ、勝利されることを祝願致します。ありがとうございます。🌸



神トップガン第 1 期海外宣教活動

天地人真の父母様主管による神トップガン第 1 期出発修練会及び出征式（陽暦 2 月 22 日）のあと、2 月 29 日までに第 1 次鮮文 UPA 32 名がアメリカ、ヨーロッパ、カナダに、韓国神トップガン 4 名がアフリカに宣教師として出発した。続いて 3 月 1 日には 2 次として、鮮文 UPA 10 名がアフリカに、韓国神トップガン 3 名がフィリピンに宣教師として出発した。日本神トップガン 39 名は学校のスケジュールのため 3 月 3 日までに教育訓練を終えて順次宣教現場に出発した。

世界各地に希望の種を蒔くために派遣された神トップガンをはじめとする鮮文 UPA の宣教師たちは、真のお母様と心情的に一つとなって現場で互いに交流し、継続的な活動を通して真のお母様の摂理のために目となり耳となり手足となって動いている。

神アメリカ

文信興士官生を含む神アメリカに派遣された神トップガン 1 期生は、任地に移動して本格的な伝道活動のための教育に臨んだ。最初に神トップガン 1 期生は先輩たちから天の父母様、真の父母様の摂理の中のアメリカの使命と孝進様の孝情を相続する時間を持った。





短い時間ではあったが、様々なプログラムを通して神アメリカの使命を学び、文信興士官生を含む神トップガン 1 期生は現地実習を開始し、神アメリカ家庭連合の各教会に新しい風を吹き込んでいる。一方、LA に派遣された文信興士官生は 1 週間で 3 人のゲストを連れてきた。

文信興士官生

愛する真のお母様、私を含む UPA 士官生 5 人はアメリカニューヨーク州のベルベディアで過ごしています。アメリカの食口たちに会いながら、真の父母様がこの地に残された歴史の足跡を見つめ、その偉大さと重要性を改めて実感しています。真のお母様、真の父母様がこれまで血と汗と涙を流して努力された途方もない基盤と、草創期の食口たちが生活を犠牲にして築き上げた歴史の現場を、今のアメリカで確認することができます。そして、真の父母様がなぜ私をこの地に送られたのかという現実を直視し、真のお母様と共に不可能だと思われた夢を実現させるために力いっぱい駆けていこうと思います。天の父母様の摂理の中で、独り娘真のお母様が明らかにされた真実をきちんと証明し、私の生き方と私の実践を通して勝利の結果を出せるよう、私の人生を父母様に完全に捧げます。真のお母様、心から愛します。

垣内陽愛(かきうちあきな)士官生

真の父母様が世界の摂理において、主に語られたアメリカの使命について悟られました。そして、なぜ私がアメリカにきたのか、宣教期間中にどのような結果を出さなければならないのか、自分を振り返り、明確な目標と使命感を感じました。真の父母様に代わって、真の父母様が今この瞬間最も会って愛したい人、真の父母様を知らずに悩んでいる人に会って真実を伝えます。アメリカに滞在しているこの期間、心の中で感じてきたことを忘れずに一生懸命活動します。真の父母様、ありがとうございます。

近江玲華(おみれいか)士官生

ベルベディア、イーストガーデン、マンハッタンセンター、ニューヨーカーホテルなど、様々な場所を訪問したり、先輩宣教師の証詞を聞きながら、真の父母様が非常に困難な環境の中でもアメリカに宣教師を派遣するために尽力された努力とご苦労の歴史を知ることができました。私も 1 世の先輩たちが真の父母様と一つになって前進し歩んできたその信仰と心情を持って、天の父母様と真の父母様が理想とされるその日のために努力します。真のお母様！必ず真の父母様の大きな喜びと希望となる孝子になります。ありがとうございます。

神ヨーロッパ

文信出士官生を含むヨーロッパ全域に派遣された神トップガン 1 期生は、ヨーロッパ宣教に必要な歴史の勉強、英語学習などを身につけ、路傍伝道、ゲスト管理を始めている。神ヨーロッパに派遣された神トップガン 1 期生は、真のお母様の切実な心情を悟り、天の父母様をお迎えできる環境圏を世界各地の宣教現場で実らせることを願いながら、言語の壁を越えて摂理の真実、真の父母様の位相と価値を広めるために最善を尽くしている。

徐嘉悠(ソ・カユ)士官生

真のお母様は、ピュアウォーターは静止状態であってはならない、流れていかなければならない、より高い世界より広い世界へと流れていかなければならない、墮落した世界を浄化し、天の父母様、真の父母様に侍ることのできる地上天国を作らなければなりませんと言われました。宣教をしながら、嬉しいこともあるでしょうし、辛いこともあるでしょうし、悲しいこともあると思います。それでもいつも天の父母様、真の父母様と一つになった心、そしていつも真の愛を注ぐなら、私は必ず神アルバニアで勝利できると固く信じています。ですから、真のお母様、心配しないでください！必ず、天の父母様、真の父母様の前に、より多くのアルバニアをはじめとする神ヨーロッパの希望をお返しします！！真の父母様、サランハムニダ！！ありがとうございます！！

近藤勇斗士官生

真のお母様と一緒に出征式をしたのがつい昨日のことに思えますが、もう現場に来て、私たちは伝道を含む様々な活動を始めました。天の父母様、真の父母様について伝えられる活動をアルバニアのメンバーと一生懸命探し、相續して取り組んでいます。真のお母様、私は UPA の GMP プログラムでアルバニアに来たことがあります。でもその時は正直自分の限界を突破することができませんでした。現在文信出士官生が見せてくれているアルバニアのために生きる姿、どんな人にも合わせようとする姿を通して、私は一歩ずつ自分の限界を突破しています。これか



ら困難にぶつかる時もあるでしょうし、時には辛い時もあるでしょう。でも、そんな時ほど身近にいるメンバーと、天の父母様、真の父母様だけを見つめながら真のお母様が開いてくださったこの道を感謝しながら歩んでいきます。私たちが一生懸命動いて、美しく輝く世界を作ります！ありがとうございます！サランハムニダ！

前裕顕

温かい愛でいつも抱いてくださる真のお母様、会いたいです。私たち神トップガン 1 期生は、出発修練会で学んだことと決意、そして真のお母様のみ言を胸に刻んで、世界各地へ向かっています。私たちのチームは、2月24日、文信出、文智燭、近藤勇斗（こんどうゆうと）、酒井郁芽（さかいあやめ）、ハン・ジョンミン、前裕顕（まえひろあき）の計6名でアルバニアのティラナに派遣されました。まず何よりも皆が無事で安全にアルバニアに到着できるよう導いてくださった天の父母様、天地人真の父母様に感謝します。真のお母様！真のお母様が神トップガンの出征式で下さったみ言とその時に私たちが捧げた決意を忘れず、天の父母様、真の父母様と一つになった子女となれるよう全力を尽くして努力します。何としても必ず勝利します。必ず勝利します。必ず勝利します。その勝利を天の父母様、真の父母様に必ず報告いたします。

神アフリカ

神アフリカのザンビアに派遣された神トップガン 1 期生は、初代アフリカ宣教師の基盤を受け継ぎ、天一国時代にふさわしい宣教活動を通じて勝利の結果を捧げるために、神アフリカ孝情郎と一緒に教育を受けている。これに対し神アフリカは、孝情郎と神トップガン 1 期生と一緒に参加する 21 日修練と 40 日講義実習及び週末伝道、70 日伝道活動を含む 6 カ月間の詳細な教育計画を発表した。

これに神トップガン 1 期生は、初臨の独り娘、真のお母様が繰り返し強調されている摂理の黄金期、天の真実、真の父母様の位相と価値を神アフリカ各地に拡散し、天一国安着が実質的に成就できるよう先頭に立っている。🇹🇼



天一国 12 年、聖和真の子女様追慕礼拝

「聖和真の子女様追慕礼拝」が天一国 12 年天曆 2 月 10 日 (陽 3.19) 午後 7 時、HJ 天宙天寶修鍊苑天心苑で、神韓国指導者、摂理機関長、神韓国牧会者、青年教会長、神韓国本部および HJ 天苑団地公職者および天苑宮天苑大教会祝福家庭および食口などが参加する中で開催された。



宋光奭 (ソン・ガンソク) 韓国協会会長は開会の挨拶を通じて、「今日、私たちは人類救援のための摂理の道で、真の子女様を先に霊界に送らなければならなかった真の父母様の心情を忘れてはならない」と話し、「特にお父様の聖和後、一人で摂理の完成に向かって行かれる真のお母様の心情を慰めてほしい」と話した。





宋龍天（ソン・ヨンチョン）家庭連合世界会長は、報告祈禱を通じて、「天の父母様の解放と人類救援の実践、窮行的な人生を一瞬も手放そうとされなかった真の父母様！アベルの血の滲む犠牲の土台の上に、天宙的次元の摂理を完成・完結・完了され、神様王権即位式を奉獻することで、天上と地上が一つになった天の父母様の王国、天一国が宣布されたという事実を、この場に頭を下げた私たち皆は深く悟らなければなりません。そして霊界にいらっしゃる真の子女様達が望まれる、天の父母様の夢、真の父母様の願いを必ず叶え、天の前に恥ずかしくない祝福家庭として孝情の使命と責任を果たすことを決意するこの時間として導いてください」と懇願した。

続いて李基誠（イ・ギソン）天心苑長は追慕の挨拶を通じて「真の父母様は蕩滅復帰摂理路程を歩まれながら、言葉では言い表せない試練と苦痛を受けられた。その中で最も大きな試練は、真の子女様の犠牲である。その度に真の父母様は摂理的意味を説明され、天の父母様の摂理に希望を吹き込まれた」と伝え、「真の父母様のみ言を中心にした真の子女様の聖和の意味を再確認し、天心苑にお迎えした孝進様、興進様の孝情に似て、天上の真のお父様と地上の真のお母様をお迎えし、真のお母様の願いである天一国安着を勝利的に成し遂げよう」と伝えた。

同日の追慕礼拝はろうそく点火（真の家庭）、開会宣言、天一国歌斉唱、家庭盟誓、報告祈禱、献杯および敬拝、歆饗（フミャン）、回顧談（史光基特別巡回師）、追悼の辞および祝禱（李基誠・天心苑長）、億万歳三唱（金東宴・CARP韓国会長）、閉会宣言の順で行われた。🔥



キリスト教圏復帰のための 真の父母論講義案開発第 3 次公聴会

家庭連合世界本部主管による「キリスト教圏復帰のための真の父母論講義案開発第 3 次公聴会」が、天一国 12 年 1 月 28 日（陽暦 3 月 8 日）午前 10 時から午後 4 時 30 分まで、HJ 天宙天寶修鍊苑の 3 階会議室で開かれた。

第 3 次公聴会には、天正宮世界本部をはじめ、神韓国協会、摂理機関、そして神学大学の教授など専門家約 30 名が出席し、現場と専門家の意見を聞く方式で行われた。

第 3 次公聴会では、1 次・2 次の公聴会で重点的に取り組んだ真の父母論の講義案開発の方向性と共に、ロバート・キットル天議苑長の講義を含む、天の父母様の本質と真の父母様の位相と価値、そして初臨の独り娘に関する歴史的真相を世の中に完全かつ正しく明らかにしなければならないという目標を設定した。そのために、海外ではなく摂理の祖国神韓国のキリスト教圏を対象に、摂理の真相、初臨の独り娘の顕現、併せてイエス様の本質を正しく知らせるかどうかに焦点を当て、それに対する講義案の発表と討論が行われた。

この日の公聴会は午前と午後、2 つのパートに分かれて行われた。午前中は神韓国協会（神韓国戦略案）と天宙平和連合（UPF の講義案紹介）、韓国宗教協議会（宗教協議会活動の計画）と青年連合（未来世代のための講義案開発）が、キリスト教圏復帰をどのように展開するのか報告し、質疑応答の時間を持ち、午後はキリスト教圏復帰のための真の父母論講義案の発表（皇甫國天一国大使館館長、趙漢福（チョ・ハンボク）天勝教会牧会者、ユン・ギョフアン鍾路教会牧会者）に対して、研究成果と方向性の模索、専門的な助言及び討論の時間が持たれた。

一方、発表後には、深い討論と発展的な提案が交わされ、公聴会の最後には、趙萬雄（チョ・マンウン）元老会会長、李現榮（イ・ヒョンヨン）韓国宗教協議会会長、申東模（シン・ドンモ）第 1 秘書室副室長から、真の父母論講義案の時代的必要性と講義案開発の重要性が強調された。また、現在、真の父母論の講義案開発研究に対する実際の努力をしている研究陣に対して、激励と応援のメッセージが伝えられた。🔗



HJ 天苑フลาวーパーク

真の父母様は2002年1月19日、清平聖地を「天苑」と命名され、天苑は復歸して完成したエデンの園であり、天の父母様を中心とした人類一家族共同体のモデル基地、平和理想世界天宙平和統一国の中心共同体という意味を込められた。

真のお母様は2013年の天一国基元節宣布以降、天一国の実体的安着のための孝情を人類の前に伝授し、2017年7月1日を期して天苑を「HJ 天苑」として再命名された。

「人類の前に地上天国、神様が夢見てこられたエデンの園となり、そこに住む人々は影のない正午定着した姿で、心を一つに天の前に喜びと頌栄をお返しし、天の父母様が願う、一つの世界を成し遂げていくために最善を尽くし、一日一日感謝しながら生きなければなりません。」(2017.7.1)

真のお母様は2023年、平和世界のモデルであり天一国の首都であるHJ 天苑摂理を本格化され、天の摂理の使命を果たすことの出来る、「HJ 天苑フลาวーパーク」としてリニューアルしてくださり、HJ 天苑フลาวーパークの運営企画を担当する「韓主グループ」を立ててくださった。

HJ 天苑フลาวーパークは環境・経済・レジャー・教育などの様々なインフラを備えた「復歸されたエデンの園」として、3大祝福完成の理想基地として、祝福家庭と人類が教育を受けて生活しながら、完成に向けて成長していく特別な基地として開発しておられるのだ。

「私の願いがあるとすれば、私の当代にすべてを成し遂げたいということです。『天の父母様と真の父母様を中心とした一つの世界はこんな姿だろう』ということを示したいと思います。」(2016.5.6)

韓主グループが現在運営している施設は、マグノリアモッチブ、加平ベゴニアバードパーク、加平クルーズ、HJ アゼリアビラだ。



1階 SeenB動物園



草食ミニ動物体験施設「SeenB 動物園」は、動物とより身近に接し、体験できるトレンドにふさわしい空間として新設された。観覧客のための体験サービスやイベント、生態説明会などを備えており、動物生態の美しさと大切さ、大自然の神秘を体験できる。

1階 富興家具

木製家具とインテリア小物が調和をなした『富興家具』では、自然にやさしい原木を使用して日常での高級感が感じられる家具とアクセサリが販売されている。自然の木の特性を生かして酸素排出および二酸化炭素を吸収して家の中の快適な空気を維持するなど、様々な使用者の要求を満たす製品に出会うことができる。



2階 アクアガーデン カフェ&レストラン



大自然を抱く韓国最大の水中庭園「アクアガーデンカフェ」は、珍しい魚をユニークなコンセプトで集めた巨大な水族館を縮小させた場所だ。単なる見どころではなく、専門的な知識と独歩的な技術を活用し、自然の中の生物を一か所で確認することができる。

3階 チョン・サンヒョン「天床」中華レストラン

20年間、5人の大統領に仕えた元青瓦台総括調理チーム長の、チョン・サンヒョンシェフが披露した「チョン・サンヒョンの天床」は、高級感溢れたインテリアで飾られた空間で、大統領をもてなしていた気持ちで、最高の料理を味わうことができる場所だ。



3階 クリスティナ・ハン

特別な品格をもとに高級感を備えた「クリスティナ・ハン」は、祝福式の礼物や、礼服の他にも、様々なジュエリーやアクセサリーなど 100 点余りのハイエンド製品を紹介している。シンプルでディテールにこだわったドレスは、主人公をより愛らしく引き立たせ、すっきりとしたブラックタキシードと蝶ネクタイは流行に振り回されない慎重な主人公の品格を見せてくれる。

一方、HJ 天苑フラワーパークの入口側に位置した、HJ マグノリアモッチブは、天一国首都の複合文化空間で、延べ面積 420 坪、地下 1 階から地上 3 階まで計 4 つの階で建設され、味と趣が共存し、体と心の安息所となり、HJ 天苑フラワーパークの夢が始まる空間というビジョンを持って奉献された。

2017 年 9 月 6 日、真のお母様は「寒い冬に、厳冬の寒さに強さを持って高貴な姿で新春を知らせることが白木蓮、紫木蓮」というように、純潔と自然の愛を表現する場所になることを願い、「ここ天苑団地をめぐる入門する場にあるマグノリ



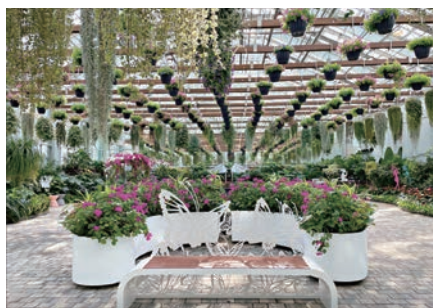
アモッチブは、自分だけを考える人々の集まりではなく、他人を配慮し、ために生きる真の父母様の真の愛を学び勉強する、未来への希望を追求する真の愛のくつろぎの空間のような役割を果たすのです」と語られた。また「ここを懐かしみ、訪れる

すべての人々の足どりが、天の父母様に対する本然の心情を探して進むことができる、真の愛のくつろぎの空間になるようにしてください」と HJ マグノリアモッチブが、天苑団地のくつろぎの空間としての役割を果たせることを祝願された

加平ベゴニアバードパーク

鶴が大きな翼を広げて舞い降りる姿を象徴する「加平ベゴニアバードパーク」は、鳥が空を飛んでしばらく休むために舞い降りた天上の憩いの場を想像しながら設計された。季節ごとにさわやかな雰囲気咲き乱れる様々な花々と、140 羽余りの鳥、そして最高の癒しを与える庭園には原生息地と類似した環境で造成され、生物の多様性を示し、絶滅危惧種の保全と人類の責任を教育する。





HJクルーズ

北漢江千年航路復元事業である海洋水産部のエコ船舶第1号「HJクルーズ」は北漢江を拠点とした環境にやさしい遊覧船観光事業である。韓国国内で初めて電気推進技術が導入された440トン級のエコ遊覧船は、運航により発生する水質汚染を根本的に遮断し、エコバッテリーを使用して騒音と振動から自由になり、様々なイベントが可能になる。世界的に環境問題が深刻な中、環境問題を克服したエコクルーズは、京畿道と江原道圏の水上観光を活性化するために作られた。



HJアゼリア・ヴィラ

煩雑な都心を離れて静かな森の中で旅行を楽しめるように、休息に必要なものが準備されている40坪型の「HJアゼリアヴィラ」はヨーロッパ風の高品格ビレッジで、計18世代が奉献され、世界指導者およびVIP高級ヴィラとして使用された場所だ。現在は家庭連合の食口を含め、誰でも使えるように管理、開放されている。



HJ天苑フラワーパークには、その他でも、心情の基盤であるHJ天宙天寶修鍊苑、社会福祉施設である「清心ビレッジ」、韓国国内最大規模の公演会場である「清心平和ワールドセンター」、孝情国際文和財団、浄水処理場をリモデリングした研究施設「HJ純水苑」、清平の水辺にグルメ店として定着した「ヘブンGバーガー」と「孝情カフェ」「韓園ジプ」「孝情宴」、先端総合診療装備を備えた、「HJマグノリア国際病院」、教育機関である「清心幼稚園」「清心国際中等高等学校」「鮮鶴UP大学院大学」等の施設などが立ち並んでいる。ㄸ



HJ グローバルニュース改編及び 大陸別映像実務者教育

世界本部 PeaceTV 主管の大陸別映像実務者教育が、天一国 12 年天暦 1 月 21 日（陽 3.1）、8 週間の期間で出発した。

1 秒圏時代に、天一国のニュースを全世界の言語で速かに普及することができ、宣教現場の摂理を記録、製作できるように指導しておられる、真のお母様は、教育に参加する大陸に映像撮影機材および現地で映像宣教に力を入れることができる環境圏を作ってお下され、真の父母様のみ言が全世界、地の果てまで伝えられる基盤を準備してお下された。

これに対し世界本部では全世界大陸と摂理現場の活動とニュースの伝達を担う、30 歳未満の青年公職者および公職希望者を選別、映像宣教の先頭に立つことのできる人材を養成する目的で、2 ヶ月間の教育費全額を支援している。

世界本部 PeaceTV は現場が必要とする多様なコンテンツ製作を目標に△理論教育と△実習教育（シナリオ作成、企画、撮影、編集、配布）を通じて独り娘、真のお母様の摂理をより迅速かつ正確に共有する、公職者としての深い使命意識を植え付けることに注力している。

今後、大陸映像実務者たちは、世界本部 PeaceTV と周期的疎通を通じて、真のお母様が語られた、韓主孝童苑に登載される天一国人物のインタビュー製作および大陸ニュースを多様に共有する媒介体として成長し、活発な活動を繰り返していく予定だ。

これに関連したより詳しい事項は大陸担当者と世界本部 PeaceTV に事前登録後、最終的に進行中である。 





真のお母様に捧げる書信

2024年世界本部PeaceTV教育生 神南米大陸イ・ウンソン

いつも愛し、慕わしい真のお母様。

私は36万組の韓国-日本の祝福家庭で成長したイ・ウンソンです。

天の摂理を1分1秒でも早める未来世代にならないといけないという、真のお母様のみ言を聞き、世の中の人々に一番早く天の摂理を知らせる強力な武器はメディアだと思いました。このような強力な武器を、天一国国営放送局であるPeaceTVで直接、一番最初の大陸として教育を受けることができる機会を与えていただき、誠にありがとうございます。また、今回の教育期間中に使用するカメラ機材および映像編集プログラムを教育以後、大陸でも使用できるように下賜して下さいました恩恵に身の置き所がありません。

愛する真のお母様。教育期間を通じて、私はお母様がメディアをどれほど重要だと考えておられるのか、この分野の未来人材を育成するのにどれほど関心を傾けておられるのか、心の底から深く感じるようになりました。8週間の教育の後、真のお母様の動静と摂理を素早く大陸に伝え、「天の摂理に足並みを揃えて、共に進む神南米」として、南米の希望と勝利の報告が出来る「孝子の大陸、神南米の未来世代」として成長し、天が望まれる復興を起こしていきます。真のお母様が地上にいらっしゃる間、喜びと勝利の報告を捧げることができるよう、ご健康を切に祈ります。

2024年 世界本部PeaceTV教育生 神南米大陸ジャンカン・チュンナム

こんにちは、真のお母様。私はブラジル・チリ家庭の二世ジャンカン・チュンナムと申します。

真のお母様、私は現代社会のオンラインメディアの消費がますます大衆化している中で、天の父母様聖会もまた、真の父母様のみ言と摂理の方向、そして様々な活動が全世界の食口たちにリアルタイムで伝えられ、天の父母様と真の父母様の摂理に参加するようにすることは何よりも重要だと悟りました。そのような意味で、今回のPeaceTVの教育課程を準備して下さった真のお母様、心より感謝申し上げます。この教育課程を通じて、摂理の中心地であるここ神韓国と神南米の間に、より大きなつながりを持つことができると確信します。

神南米は、神南米大陸のキム・ドンウ会長を中心に、神南米大陸本部の建物にスタジオを構築し、現在、コンテンツ制作に必要な機材を確保する最終段階に入っています。神南米に必要な機材と有能な人材が集まれば、天の父母様を証して広く知らせることに拍車をかけることができると信じています。

教育期間、真のお母様が下賜して下さった撮影機材を持って、より一層熱心に教育を受け、南米大陸に戻って、良い品質のコンテンツを作る上で積極的に活用します。真のお母様、心から感謝申し上げます。



神アメリカ地域単位牧会者修練会

東南部圏の「次世代のためのリーダーシップリトリート」が天一国 12 年天暦 1 月 21 日から 22 日（陽暦 3 月 1 日～2 日）まで、プエルトリコのパハルドのホテルで 38 人の牧会者と青年指導者が参加する中開催された。

今回の修練会は、真のお母様を中心としたビジョン 2024 計画を共有し、東南部圏の公職者たちの絆を強めるために開かれた。

東南部圏のアキレ・アコラチェ牧会者は、参加者全員に歓迎の挨拶をし、天の父母様の願いを成就するために真のお母様の切迫した心情と一つになって教会成長を成し遂げようと呼びかけた。

続いて牧会者と青年指導者は、教会成長のために現在の教会の内部環境を分析して強みと弱みを認識し、外部環境を分析してチャンスと危機を明確にし、目標設定と戦略を議論する時間を持った。また、祝福家庭局を中心に祝福候補者を模索し、教育内容と管理方法を共有した。





1泊2日の日程で開催された東南部圏修練会は、独り娘・真のお母様に侍って2024年に立てられた目標を達成するために共に前進していくという固い決意を固めて締めくくられた。

神アメリカ中西部のシカゴ家庭教会天心苑では、天一国12年天暦1月21日から23日(陽暦3月1日～3日)まで、中西部の牧会者夫婦全員が参加して修練会が開催された。

天心苑修練会は、真のお母様のみ言を中心に時代的重要性を認識し、全体が一つになって精誠を捧げる時間として設けられた。

今回の修練会の趣旨は、真のお母様のみ言である時代的重要性を認識し、参加者全体が一つになって天が望む姿に生まれ変わることにより、幸せな家庭と教会団体が連携して地域社会に影響力を拡大させるという同一目標をもって行われた。

参加者たちは、たかみかずお主任牧会者から真のお母様の天一国摂理と国家の復帰のビジョンを明確に聞いて、様々な意見を共有する時間を持った。

多数の現地活動事例を共有し、参加者たちは神霊と真理で一つになって前進するようと言われた真のお母様の天心苑摂理を基盤として、教会の成長と発展を図り、天のみ旨を成就するための決意を固め、3日間の切実な祈りで修練会を締めくくった。🔗

国際女性の日記念式

ベルギー

「国際女性の日」を記念するため、ベルギー家庭連合は社会の著名人と連帯して、女性の宗教的自由と信念強化に関する議論の場を設けた。

この日の行事は社会の著名人が参加する中、欧州議会で行われた。

ハンズチンジェネバ副委員長は、国連の女子差別撤廃委員会を例に挙げ、「国連創設以来、国連の人権規範の制定と人権委員会をはじめとする各種人権会議の活動において、非政府組織 (NGO) の参加と貢献が大きな役割を果たしてきた」とし、「世界各地で起きている様々な問題を解決するためには、宗教的信念を持った女性の活動参加と理解の拡大が必要だ」と語った。

ブリュッセルのネパール大使館の代表は、ネパールの継続的な協力と共存発展のための努力と関心に感謝の意を表し、ネパール女性が現在直面している教育や医療、経済的困難、うつ病、不安に対するネパール政府の新しい政策とプログラムを発表した。





一方、ベルギー家庭連合では、経済的、政治的、社会的、宗教的分野で参政権、働く権利、差別撤廃を公式化し、全世界の女性の人権を知らせる時間を持った。

フランス

フランス家庭連合でも「国際女性の日」を記念するため「超宗教的対話に貢献する女性」というテーマで 20 カ国の参加によるオンライン対話の場を設けた。

まず、カトリックを代表してバチカン警察で勤務した経歴を持つマリー・デュラン・ド・ボクレソンは、「持続的な社会発展のために、女性が責任ある立場でより多様なアプローチをしなければならない」と語った。

イスラム教を代表してプジャ・アカジ氏はコーランの内容に触れながら、現代社会における女性の人権に関する問題について共有する時間を持った。

また、家庭連合を代表してブリジット・ワダ女性部会長は「誰もが幸せな社会、持続可能な社会の発展を支える男女平等な社会を実現するためには、女性の社会活動への参加拡大と社会活動への集中が必須」と強調した。

一方、終日議論が行われたこの日の会議では、社会的に影響力のある女性 15 人を中心に、各分野で活躍している多くの女性の役割と生き方に触れ、超宗教を通じた平和世界実現のために、女性のポジティブなエネルギーが大きな影響力を発揮できるという意見をまとめる貴重な経験をした。🌀

2023 カンボジア 統一武道全国大会

神アジア太平洋ニュージーランドでは、UPF と世界スポーツ釣り連合 (WSFF) が主催する『2024 年ニュージーランド世界釣りワールドカップ』が天・国 12 年天暦 1 月 28 日から 2 月 3 日まで (陽 3.8~12) ニュージーランドのオークランドで開かれた。

4 泊 5 日間、15 カ国から 71 人が参加した釣りワールドカップは、海を中心に世界を結束させようとした真の父母様の海洋摂理の一環として行われた。

初日 (8 日) には開幕式とオリエンテーションが Hon Shane Jones 海洋水産部長官と Keutekarakia KeuMataroa クックアイランド総領事を含む約 200 人が参加した中で行われた。この日の開幕式では、ユン・テグン WSFF 世界会長とニュージーランドのレオン会長が歓迎の挨拶を伝えた。

2 日目 (9 日)、参加者たちはマリーナに到着してボートで移動し、適応練習および釣りワールドカップの予選の試合を繰り広げた。

一方、同日行われたシンポジウムでは、約 30 人が参加する中で、祝辞 (ニュージーランド駐在クック諸島総領事、チェ・ジンホ WSFF 新任会長)、演説 (堀正一神アジア太平洋大陸会長)、特別講義 (山田豊オセアニア UPF 議長)、講義 (海洋資源管理と保存についての環境活動家)、海洋資源保存および開発のための「2024 年オークランドブルーパシフィック署名式」の順で開かれた。





3日目(10日)は準決勝戦、敗者復活戦、決勝戦、そして待望の授賞式が140人が参加する中で行われた。個人戦の受賞者としては、1位リチャード・モールド(ニュージーランド)、2位クリス・ブルース(オーストラリア)、3位カムレシュ・ナラヤン(フィジー)が受賞し、団体戦の受賞は、1位ウルグアイチーム、2位日本チーム、3位マレーシアチームが受賞した。

世界釣りワールドカップで獲れた700匹の魚の内90%は、Kai IkaとPapatuanuku MaraeというNGO団体を通じて、助けが必要な地域社会に寄付された。

ニュージーランド家庭連合の食口たちは、今回の釣りワールドカップを通じて、それぞれ異なる多様な文化圏に属する人々が天の父母様と真の父母様の摂理を悟り、実践し、最高の記憶と大切な経験ができるように適材適所に配置され、喜んで奉仕した。また、釣りワールドカップに参加した参加者たちも無限のエネルギーと情熱で成功的な大会のために事前案内と教育を受け、現場活動に参加した。

5日目(12日)、ニュージーランドUPFは、真の父母様の海洋摂理に関するミーティングを通じて、2024年のロードマップを共有し、全体の日程を盛況の内に終えた。🏆



孝情アカデミー発足式、 孝情郎 14 期入学式及び孝情郎 12 期卒業式

ブラジルに位置する神南米の本部教会では、天一国 12 年天暦 1 月 23 日（陽暦 3 月 3 日）、家庭連合と神南米青年学生連合の主催で、孝情アカデミーの発足式及び孝情郎 14 期入学式と孝情郎 12 期卒業式など、三つの主要行事が行われた。

この日の行事は、金東佑（キム・ドンウ）神南米大陸会長をはじめ国家会長、牧会者、摂理機関代表、食口など約 3,000 人が参加する中、オンラインとオフラインで行われた。

天の使命を受けて参加した 1 世・2 世の青年たち（12 期 6 名：卒業 / 13 期 6 名：鮮文 UPA 活動、13・14 期 42 名：大陸内活動）は、天の父母様と真の父母様のみ旨に従って、独り娘・真のお母様と一つになり摂理の中心者として

の召命を成就していくために、信仰生活とミッション活動に専念することを決意した。

金東佑大陸会長は、この 21 日間の修練を振り返り基調演説の中で「独り娘・真のお母様が 2 世の青年を『ピュアウォーター』、『純潔な水』と言われ、墮落した世の中を浄化する真の子女になるようにと祝福されたみ言を胸に深く刻み、人生の指針として、摂理の中心である独り娘・真のお母様と一つに

なって前進してほしい。」と伝えた。

この日の行事のために、金成南（キム・ソンナム）分苑長、佐々木孝一協会長、サミュエル・オタ・リンヒャレス神南米青年連合会長、ソ・ソングン第 2 地区地区長、シモン・ペラボリ神南米 UPF 議長、エンリケ・サレス知事、イ・ヨンチャン牧師、イルダ・カセレスボリビア協会会長他から特別に映像で祝辞が送られてきた。📺



孝情郎 2 期 21 日修練会開会式

神アフリカ孝情郎 2 期 21 日修練会の開会式が天一国 12 年天暦 1 月 27 日（陽暦 3 月 6 日）、30 人が参加する中、ザンビア・ルサカの HJ 天寶訓練所で力強く始まった。

この日の開会式には、孝情郎 2 期生の歓迎と祝賀を込めて、バカリ・カマラ神アフリカ天議苑長をはじめ、神アフリカ摂理のために尽力している各国の指導者、宣教師、地域の牧会者などが出席した。指導者たちの激励の挨拶のあと、出席者全員が真の父母様と天の父母様のみ旨と真のお母様の愛に応えて、世界中に平和を広めるという覚悟と決意を込めた歌を披露した。

真のお母様は、天一国の指導者養成のために成和学生、青年学生、カープなど世界各地の祝福家庭の 2 世・3 世を特別に管理し教育され、持続的な人材育成方案の体系を整えておられる。そのような意味から神アフリカ孝情郎 2 期修練会は、若者の情熱と覇気で天一国の夢と希望に満ちた未来に向かう力強い一歩になると信じている。

「時を逃してはいけないということです。これ以上、天の父母様を失望させる祝福家庭の 2 世、3 世になってはいけません。皆さんは、皆さんの親よりも大きな忠孝の限りを天の前に尽くすという目標を定めて勉強もしなければなりません。そこで私は皆さんを特別に管理して教育したいと思います。」(2019 年 5 月 19 日)

「皆さんは 6 千年かけて真の父母様が探した、天一国安着のために第一線でしっかり成長しなければならない孝情郎です。そのことを聞きましたか？ 過去にも未来にもない、今この時点でどうしても必要な未来の指導者として成長させるつもりです。」(2019 年 7 月 21 日)。



孝情の人生

デビッド・イートン

聖歌編纂委員会委員長兼孝情青少年オーケストラ団長



1. 神様との最初の出会い

私はカトリック教徒の家庭の12人兄弟の長男として生まれました。兄弟はみなカトリックの学校に通っていましたが、当時の私にとって宗教はあまり意味がありませんでした。幼い頃の私にとって音楽だけが宗教であり、音楽だけが人生でした。

高校時代、バンドやオーケストラなど、私はどんな音楽でも演奏できるくらいに成長していました。卒業と同時に大学に進学した時も、自然と音楽関連の専門的な仕事をすることができました。

1972年のある日、私は聖書の勉強に没頭していた友人から電話をもらいました。彼は当時私に「デビッド、聖書の勉強の時間に、もうすぐ再臨のメシヤが来るという話を聞いた。そのための準備をしないとイケない。」と言ってきました。

大人になってからも宗教は私にとって大きな意味がなかったのですが、その日以来、不思議なことにその友人の言葉が頭から離れませんでした。そして、初めて再臨のメシヤについて深く考え始めるようになりました。そして「もしその日が来たら、私の家族や周りの人たち、私の好きな職業は自分にとってどんな意味を持つようになるのだろうか。」という大きな悩みを持つようになりました。

1974年、オハイオ州立大学コロンバスキャンパスへの入学を控えていた頃、あるドイツ人女性と偶然通りで出会いました。彼女は私に「神の存在の有無」について質問を投げかけ、一緒にどこかに行って詳しい話をしようと提案してきました。考える余裕はもちろん、断る隙もなく、何かの力に導かれて講義をする場所まで行くことになりました。そこで私は神様の理想世界に対する青写真とともに、聖書の中の中心人物についての内容をより詳しく聞くことになりました。そして、到底否定できない内容を聞いてかなりのショックに見舞われました。その後、私は真の父母様に対する疑問を抱きながらワークショップに参加し、真の父母様の使命に感動と感謝の思いを持ち、統一原理との最初の出会いが始まりました。

しかし、私は当時、学部の専攻(音楽)を何としても終わらせなければならなかったので、教会で行われる他の講義や修練会にはしばらく参加できませんでした。そんな中、神様は私に「文鮮明が誰であるかもっと探求してみなさい」という声と役事を展開され、自然な形で私の人生に臨まれました。

2. 真の父母様との最初の対面

私が初めて真のお父様にお会いしたのは、1974年11月12日、エリー・クラウン・シアターでのイベントの時でした。当時、真のお父様は韓国語で話されましたが、英語に翻訳されたその内容

が、本当に真のお父様の声で私に聞こえてきました。時間が経つにつれ、私は神様の実存に気づくようになり、天の声によって真なる父母の価値を感じられるようになりました。そうして私は7日、21日、40日、120日のワークショップに参加することになりました。私は聞いた内容を通して自分の信仰が強くなっていることを感じました。また、私が初めて真のお母様にお会いしたのは、ワシントン記念塔のキャンペーンの時でした。私はあの日の強烈な真の父母様の姿を今でも忘れることができません。そのため、統一運動も牧会者の説教の内容も知りませんでしたが、実際に存在される神様について悟れるようになっていきました。

3. 指揮をするようになった動機

私は小さい頃から「ニューヨーク・シンフォニーの指揮者」になることを夢見ていました。教会との出会いの後、指揮者の夢を捨てて2年間は教会生活だけに専念していました。ところが、当時真のお父様はニューヨーク市交響樂團を買収され、発展できる状況を模索しておられました。真のお父様は人類の大オーケストラを作ろうという理念で、朴普熙(パク・ポーヒ)会長を樂團の理事長に任命され、私もオーケストラのオーディションを受けることになりました。オーディションには真のお父様も参加して下さり、私と個人的に会ってくださったことはとても驚くべき恵みとなりました。数年間、交響樂團で活動していましたが、真のお父様はメンバーの半分はイギリスで、もう半分はアメリカのボストンで活動するようと言われました。私は当時、ボストンに行くことになり、真のお父様はボストンバンドに朴普熙総裁を中心とした大学街の音楽チームを作り、CARPの活動を復興させるようと言われました。そうして3年間CARPで活動することになり、その後、ニューヨークに戻って公演芸術の仕事の続け、かつての夢であったニューヨーク・シンフォニーの指揮者の夢を叶えることができました。大きな夢でしたが天の導きがあったからこそ自然と実現した結果でした。

4. アメリカでの活動

真のお父様が「ニューヨーク・シンフォニー」を通じて持っていた目標はただ一つ、ニューヨークで専門的な信頼を得ることでした。私自身もそのような真のお父様の言葉に確信を持ち、オーケストラに参加していました。そして予算を決めて、ニューヨークの最高の音楽家を集めていきました。当時ニューヨーク・シンフォニー・オーケストラは最高レベルのフリーランスアーティストを雇い、カーネギーホールをはじめ、リンカーンセンター、国連などで演奏することができました。2～3年後に成長したオーケストラは、ニューヨークミュージックプレスから良い評価を受けるようになりました。すると、他のプロデューサーはもちろん、アーティストともオファーが取れるようになり、彼らからコラボレーションの依頼を受けたり出演料を提供してもらえるようになりました。





そうして、次第に有名なアーティストを通して、ニューヨーク・シンフォニー・オーケストラは彼らが持つ芸術的価値や演奏方法を習得し、様々な視点から幅広く成長していきました。

5. 真の父母様の文化、芸術、音楽のビジョンを紹介

真のお父様の音楽的ビジョンは非常にシンプルです。音楽を通じて世界平和の重要性を強調し、肯定的な価値観を伝えたいというものでした。共産主義国家でも素晴らしい音楽家を訓練・育成しています。音楽を通じて政治的緊張緩和や平和維持を祈願し、平和的な文化活動を展開したいと願っておられたのです。彼らもまた、最高の仲間入りを果たした私たちのオーケストラと一緒にやりたいと思っていました。そのように音楽という芸術的な道具を通して、真のお父様は愛と希望と平和のメッセージを伝えたいと願っておられたのです。真のお父様は朴普熙会長とパク・ジュンヨン氏をニューヨークと公演芸術の担当者に任命され、1988年、ニューヨーク市立交響楽団を韓国オリンピックの公演に参加させました。その後、日本ツアーも4回行いました。

6. 孝進様との音楽制作

1991年にマンハッタンセンターの開発に参加し、2つの美しいレコーディングルームと3つのTVスタジオの建設に携わったことがありました。その後、私はケビン・ピカールと共に孝進様のチームに加わり、マンハッタンセンターで働くよう依頼されました。

当時孝進様は、最新のコンピュータ技術を学び、音楽に取り入れるべきだとおっしゃっていました。当時音楽家であった私にはまったくない発想でしたが、時間が経つにつれてそれが本当に素晴らしい道具になると実感でき、孝進様は本当に未来を予見され、音楽的な世界において一歩先、それ以上先を見据えていることが感じられました。当時孝進様は、私たちがそのことを吸収できるように、非常に強く推進されました。その時間のおかげで成長した私自身も、時代の流れに流されることなく、今日までコンピュータ技術を使った作業などを積極的に活用してきました。

真のお母様は、そのような孝進様をいつも誇りに思





っておられ、「孝進のような天才性を持った芸術家が表現する音楽は、平和を前に、人種、政治、宗教、言語の違いを超えて、成熟した文化的風土を形成するようになる。」と言われました。また真のお母様は自叙伝の中で、「一般的に人々は政治が世の中を変えると考えますが、世の中を変えるのは政治ではなく芸術と文化です。」とされています。これは私が教会に入教する前からずっと考えていたことと同じです。

7. 韓国にきたきっかけ

2015年12月、アメリカのコンチネンタルの責任者金起勳(キム・ギフン)神アメリカ天議苑長から一通の連絡を受けました。彼は真の父母様の誕生日を前にして、聖誕祝賀曲を作ってもらえないかと要請してきたのです。私は金起勳天議苑長の要請を受けて、短い詩にメロディーを付けたデモテープを作りました。その後、ありがたいことに真のお母様は私の音楽を気に入ってくださり、現在お母様が進行中の「孝情オーケストラ」のために韓国に来て指揮者として、また作曲家としての役割を果たして欲しいという提案を受けました。それから数日間、私の夢に真のお母様が現れ、聖歌編纂と孝情オーケストラの指揮をめぐる質問を何度も何度も受けるようになりました。それからちょうど一ヶ月後、私は2016年の真の父母様聖婚記念日を前に韓国入国を命じられ、真のお母様が望まれる天一国音楽の制作作業を始めることになりました。

8. これからの計画

真のお母様は2025年の天苑宮入宮式のために新しい音楽を作曲する使命を与えてくださいました。そのため、現在韓国で行っているすべての業務を終える予定ですが、天一国音楽の編纂により多くの時間を割く予定です。また、あちこちから音楽関連のプロジェクトの要請があり、しばらくは個人的な制作作業にも没頭する計画があります。

9. エピローグ

8年前、真のお母様に呼ばれて韓国でのミッションを受けた時も、家族は私のミッションを積極的に支持してくれました。私と妻は今でも暇さえあれば私のミッションの話をしませんが、当時韓国にきたことは、私の大きな孝の基準からではなく、子女として当然の責任と道理からでした。それにもかかわらず、私にいつも忘れられない愛を与えてくださる真の父母様に心から感謝し栄光を捧げます。🌸



VISION 2025 승리를 위한 신한국 목회자 참부모론 특별교육

청일국 12년 치려 1월 27일 (양 03.07)

HH최주최보수권원 대성전